

都市再生整備計画(第1回変更)

愛荘地区

滋賀県 愛荘町

平成27年9月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	滋賀県	市町村名	愛荘町	地区名	愛荘地区	面積	1270 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標

大目標: 安心・元気・喜びのまちづくり推進

目標1: 旧中山道整備による賑わいの再生。

目標2: 地域固有資源の保存・有効活用による文化・学習・交流ネットワークの強化。

目標3: 人にやさしい交通体系の整備による安全・安心の向上。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

平成18年2月に愛知川町と秦荘町が合併し誕生した愛荘町は、「心ふれ愛・笑顔いっぱいの元気なまち」を将来像とした総合計画において、「安心」「元気」「喜び」をキーワードとした3つの「まちづくり重点プロジェクト」をもとにして、まちづくりを推進している。また、合併後には町の東部を縦断する名神高速道路・湖東三山スマートICが平成25年の開通を目標に工事が進められており、住民の利便性向上や救急・医療活動の強化とともに、湖東三山(西明寺・金剛輪寺・百濟寺)や多賀大社など湖東地域への観光客増加や企業誘致によるまちの活性化に期待している。

本地域は旧中山道「愛知川宿」として栄えた地域であるが、郊外や近隣市町への大型店舗の立地により賑わいは薄れているものの、街道近くには住民団体が保存活用運動を行う県内唯一現存する「旧愛知郡役所」や、NPO法人の知的資源イニシアティブ(IRI)が、これから図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に対して授与している“Library of the Year 2007”の大賞を受賞した「愛荘町立愛知川図書館」がある。また旧愛知川町域に江戸時代から伝わる不思議な工芸品「愛知川びん細工てまり」を展示し、その歴史や製作工程を解説するパネルやビデオで紹介する「愛知川びんてまりの館」、さらには近江鉄道の「愛知川駅舎」には文化・芸術に触れる企画展を催す愛知川駅コミュニティ施設「るーぶる愛知川」などの観光資源となる施設を有し、地域の情報発信により住民の生涯学習を支援するとともに観光振興に取り組んでいる。一方、都市部への通勤圏内であり比較的、安価な土地に新興住宅地やアパートの建設が進行し、若い世代の人口が増加している。なお、国道8号の恒常的な渋滞により児童生徒の通学の安全確保も困難な状況であるとともに、JR能登川駅から近江鉄道の愛知川駅を経由するバス路線においても同地域の道路が狭隘であることから車両の対向も困難であり、早期の改修が望まれている。さらに、増加する子育て世代においては、安心して子どもたちと触れ合う憩いの場として町が整備を進めている都市計画公園の早期完成を熱望している。

課題

- ・旧愛知郡役所が立地する土地・建物はJAの所有であるが、県内唯一現存する旧郡役所の保存活用を要望する住民団体が運動を展開しており、町は、歴史的・文化的価値のある同施設を保存活用するため、旧郡役所取得の方策について協議を継続している。
- ・旧中山道においてはかつての賑わいが薄れるなか、湖東三山スマートIC開通による観光客誘導により賑わいを取り戻すためのインフラ(駐車場・トイレ・休憩所・道路)整備が課題となる。
- ・住宅開発が進み人口が増加する愛知川地域においては、国道8号の渋滞と国道8号へ通じる町道の歩道設置が見込めないため、児童・生徒の通学に危険度を増している箇所が増大している。また、近江鉄道「愛知川駅」を経由する路線バスも本地域を通過しており、今後増加を見込む観光客や通学時の安全確保が課題である。さらに、都市計画公園の早期完成が課題である。

将来ビジョン(中長期)

心ふれ愛・笑顔いっぱいの元気なまち

愛荘町総合計画では、安心・いきいき笑顔あふれる「くらし」、快適・便利で元気な「まち」、心ふれあい、学び合い、分かち合う「人」をまちづくりの基本理念に6つの基本方針を定めている。また、3つの重点プロジェクトには、地域資源の掘り起こしと活用、拠点となる文化・学習・交流施設のネットワークを目指す「(仮称)まちじゅうミュージアム構想」、産業連携の体制づくり、他の地域との交流の場づくりなどを推進する「農林・商工・観光一体型の産業振興」、地域公共システムなどを構築する「つながる・ひろがる交流都市」、などの推進を位置づけている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
旅人数	更べ人／10日間／月／4ポイント	旧中山道と周辺施設の旅人延べ数	来訪者の増加により活性化を図る。施設整備やガイドの育成により地域住民はもとより、来訪者の利用を増進させる。	±べ1,000人／10日間／月／4ポイント	H23	±べ1800人／10日間／月／4ポイント	H28
近江上布伝統産業会館月別入場者人数	人	旧愛知郡役所の近くにある「近江上布伝統産業会館」の入場者数	旧愛知郡役所の再整備により観光客数の増加を図る	300人／月	H23	400人／月	H28
旧愛知郡役所活用によるまちづくりのワークショップへの参加者数増加率	%	ワークショップや活動への参加者数	まちづくりへの参加意識向上、コミュニティの活性化、活動場所やソフトを充実させることにより多くの住民の意識向上やコミュニティ活動の活性化	30人	H23	増加率50%	H28

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none">・旧中山道整備による賑わいの再生 　旧中山道の町並みを重視した道路の舗装を実施し、あわせて町並みをライトアップして夜間における景観の向上を図り、歴史のある町並みを活かし、快適で魅力ある町並み整備を行い、旅人が多く訪れる個性ある町づくりを進める。旅人の利便性を向上させるため、駐車場・休憩所・トイレ・案内所等を整備する。 　まちかど博物館に指定された各商店には、それぞれに独自の店の顔があることから、町の活性化にこれらの要素を活用し、地域のコミュニティの醸成を進め、商店街の活性化を実現する。・地域固有資源の保存・有効活用による文化・学習・交流ネットワークの強化 　古くから湖東地方の文化的中心地であった旧中山道「愛知川宿」には、90年近くの歴史を有する旧郡役所が残されている。この建物は、大正11年(1922年)に竣工した木造2階建ての近代洋風建築である。高さは棟まで13メートルあり、地域のシンボルとして堂々たる風格を有している。この旧郡役所を地域のシンボルとしてまちづくりに活用、市民の交流、コミュニケーションの場として整備を進める。さらに街道を歩く旅人の施設整備を同時に進める。 一方、湖東三山スマートインターチェンジに近い蚊野においては、公民館跡地を市民と旅人の交流ができる場の整備を進める。	旧中山道愛知川宿道路カラーリング事業(基幹事業)・東部公園整備事業(基幹事業)・旧中山道愛知川宿街路灯整備事業(提案事業)・旧中山道愛知川宿駐車場整備事業(提案事業)・愛知川幼稚園グラウンド拡張事業(提案事業)
<ul style="list-style-type: none">・人にやさしい交通体系の整備による安全・安心の向上 　近江鉄道の「愛知川駅」と県道湖東愛知川線を結ぶ町道愛知川・市線において交差点の改修に合わせ、歩行者の安全確保のための歩道設置を進める。	旧愛知郡役所保存活用事業(基幹事業)・愛知川宿街道交流館整備事業(基幹事業)・町民交流広場整備事業(提案事業)
<ul style="list-style-type: none">・その他	町道愛知川線交差点改良事業(基幹事業)

○旧郡役所の保存の市民活動について

町内の有志により旧愛知郡役所建物の保存と活用については広く保存活動を行なっている「こころばえの会」があり、署名活動が行なわれ、2千5百名の署名を集めた。当会では、「よみがえれ旧愛知郡役所」というPR紙を発行し、保存に必要な市民の理解を広く訴えている。今後、旧愛知郡役所の活用について、さまざまなアイデアを準備しているところである。

○近隣の大学との連携

まちづくりについては、これまでに滋賀大学・滋賀県立大学・びわこ学院大学と連携し、まちづくりについてのアイデアに基づく学生のパワーを活かしたまちづくりを進める。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,070	交付限度額	428	国費率	0.4
---------	-------	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
道路	町道愛知川・市線	愛荘町	直	L=71m w=10m		H24	H24	H24	H24	20	20	20	0 20
公園	都市計画公園「東部地域公園」	愛荘町	直	A=1.8ha		H25	H26	H25	H26	128	128	128	0 128
古都及び緑地保全事業													
河川													
下水道	—			—									
駐車場有効利用システム	—			—									
地域生活基盤施設	—			—									
高質空間形成施設													
	町道旧中仙道線	愛荘町	直	L=550m W=6.3m		H24	H25	H24	H25	29	29	29	0 29
	町道旧中仙道線	愛荘町	直	照明灯 65基		H27	H27	H27	H27	40	40	40	0 40
高次都市施設													
既存建造物活用事業													
	旧愛知郡役所	愛荘町	直	A=2123.89 m ²		H25	H28	H26	H28	300	300	300	0 300
	旧近江銀行	愛荘町	直	A=1086.14 m ²		H25	H28	H26	H28	344	344	344	0 344
土地区画整理事業													
市街地再開発事業													
住宅街区整備事業													
地区再開発事業													
バリアフリー環境整備促進事業													
優良建築物等整備事業													
	拠点開発型												
住宅市街地 総合整備 事業	沿道等整備型												
	密集住宅市街地整備型												
	耐震改修促進型												
街並み環境整備事業													
住宅地区改良事業等													
都心共同住宅供給事業													
公営住宅等整備													
都市再生住宅等整備													
防災街区整備事業													
合計										861	861	861	0 861

861

提案事業

合計(A+B) 1070

(参考)関連事業

都市再生整備計画の区域

愛荘地区(滋賀県愛荘町)

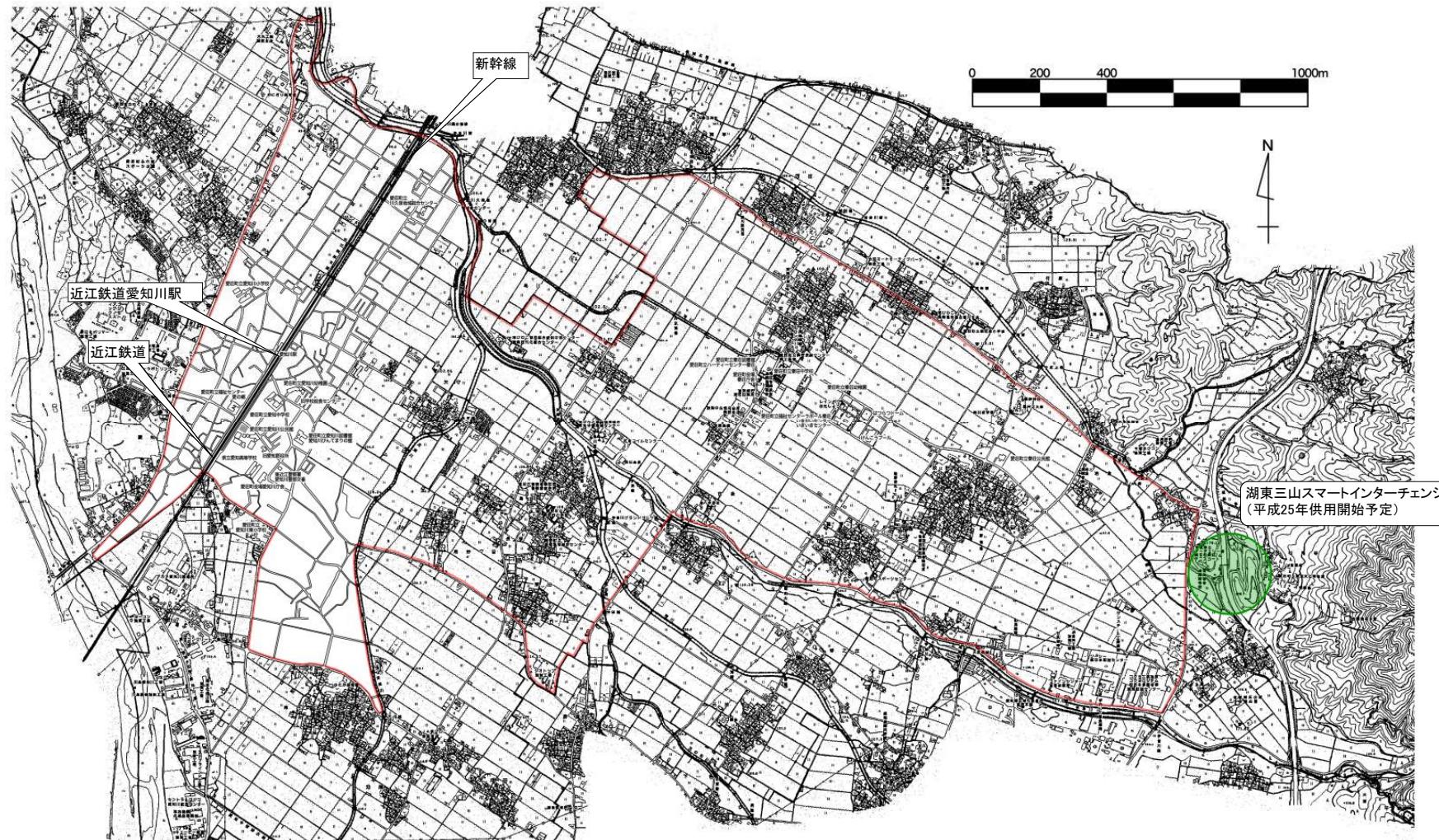
面積

1270 ha

区域

愛荘町愛知川・中宿・沓掛・市・川久保・石橋及び蚊野一部区域

※ 計画区域が分かることを添付すること。



愛荘地区(滋賀県愛荘町) 整備方針概要図

目標	安心・元気・喜びのまちづくり促進	代表的な指標	旅人数(10日間／月／4ポイント)	1000人	(H23年度)	→	1800人	(H28年度)
			近江上布伝統産業館入場者数(月／人)	300人	(H23年度)	→	400人	(H28年度)
			ワークショップ参加者数増加数(%)	0%(30人)	(H23年度)	→	50%(45人)	(H28年度)

